

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

プレス工業株式会社 尾道工場

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市高須町大山田 1050番地

(3) 業種

輸送用機械器具製造業(206)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー起源CO2												
非エネルギー起源CO2												
メタン												
一酸化二窒素												
その他温室効果ガス												
温室効果ガス実排出量総計												
温室効果ガスみなし排出量												
実績に対する自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 付加価値(百万円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成24年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度			
エネルギー起源CO2	10,224	7,460	9,975							
		-27.0	2.4							
非エネルギー起源CO2		0.0	0.0							
メタン		0.0	0.0							
一酸化二窒素		0.0	0.0							
その他温室効果ガス		0.0	0.0							
温室効果ガス実排出量総計	10,224	7,460	9,975							
		-27.0	2.4							
エネルギー消費原単位 (原油換算kt)	0.5254 (3,789KL)	0.4991 (3,600KL)	0.6659 (3,844KL)							
実績に対する自己評価	2016年度10月より、付加価値が低くエネルギー消費の高い製品の量産が開始、付加価値の増加割合以上に、エネルギー消費量が増加、要求品質も高く修正等が多数発生し、より悪化が拡大した。									

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電力使用量の削減。	電力量削減 (20,000kg/年)	生産設備合理化による生産性向上。
2	電気使用量の削減。	電力量削減 (35,000kg/年)	高効率・LED照明への更新。
3	電力使用量の削減。	電力量削減 (18,000kg/年)	冷却水ポンプ配管更新による、電動機容量見直し。(22kw→15kw)
4	電力使用量の削減。	電力量削減 (50,000kg/年)	塗装品質向上による、設備稼働時間抑制。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量削減	廃棄物排出量を原単位あたり1%削減。	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料の節約。(設計・加工) ・消耗品の寿命延命化。 ・廃油排出量の削減。(リサイクル化) ・紙の節約。(両面使用)
2	PRTR低減	PRTRを原単位あたり5%削減。	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装色替え回数削減。 ・吐出量の適正化。
3	排水含有物質	排水有害物質含有量規制値遵守。	<ul style="list-style-type: none"> ・COD負荷量規制値遵守。 ・全窒素負荷量規制値遵守。 ・全リン負荷量規制値遵守。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。